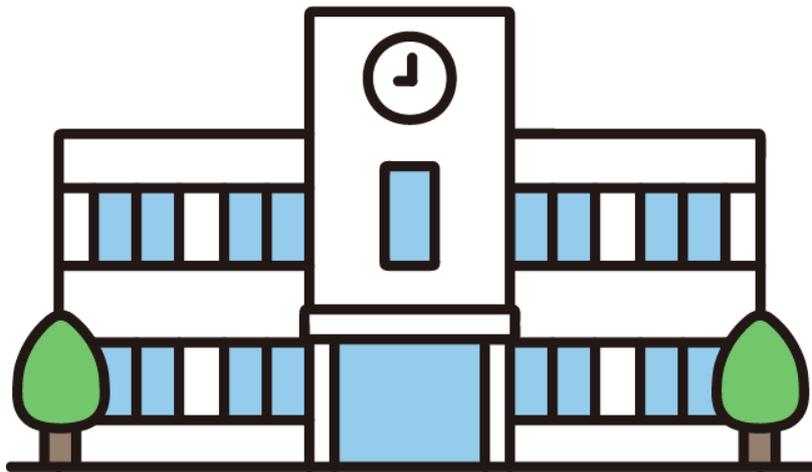


4

教育・子ども



幼稚園数 ▶▶▶ 1位 横浜市 4-01

指標 2023年5月1日現在の神奈川県幼稚園数は608園で、前年度から8園減少しました。設置者別では、公立が34園、私立が574園で、国立はありません。

県内市町村で幼稚園数が最も多いのは横浜市で236園、次いで川崎市が79園です。中井町には幼稚園がありませんが、幼保連携型認定こども園が1園あります。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]

用語 学校基本調査と幼稚園

幼稚園は、学校教育法において「学校」と規定されているため、学校基本調査において把握されます。

幼稚園在園者数 ▶▶▶ 1位 横浜市 4-02 / 4-03
幼稚園在園者数(教員1人当たり) ▶▶▶ 1位 葉山町

指標 2023年5月1日現在の神奈川県幼稚園在園者数は8万2798人で、前年度から7045人減少しました。男女別の内訳は、男子4万1837人、女子4万961人です。教員1人当たりの幼稚園在園者数は10.64人です。

県内市町村で幼稚園在園者数が最も多いのは横浜市で3万2155人です。教員1人あたりの幼稚園在園者数が最も多いのは葉山町で14.70人です。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]



統計情報 神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)

令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)
[県統計センター]
公表日:令和6年1月25日 公表周期:毎年
文部科学省が統計法に基づいて実施し公表する学校基本調査のうち、神奈川県分について集計し取りまとめたものです。

幼保連携型認定こども園数 ▶▶▶ 1位 横浜市 4-04

指標 2023年5月1日現在の神奈川県幼保連携型認定こども園数は168園で、前年度から9園増加しました。設置者別では、公立が13園、私立が155園です。

県内市町村で幼保連携型認定こども園数が最も多いのは横浜市で52園、次いで相模原市で50園です。13市町村では幼保連携型認定こども園がなく、幼稚園のみあります。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]

用語 幼保連携型認定こども園

幼保連携型認定こども園は「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律」の改正(平成27年4月1日施行)により、新たな学校種として創設されました。

幼保連携型認定こども園在園者数 4-05 / 4-06
▶▶▶ 1位 横浜市
幼保連携型認定こども園在園者数
(教育・保育職員1人当たり) ▶▶▶ 1位 海老名市

指標 2023年5月1日現在の神奈川県幼保連携型認定こども園在園者数は2万4555人で、前年度から706人増加しました。男女別の内訳は、男子1万2453人、女子1万2102人です。教育・保育職員1人当たりの幼保連携型認定こども園在園者数は6.42人です。

県内市町村で幼保連携型認定こども園在園者数が最も多いのは横浜市で9810人です。幼保連携型認定こども園が所在する市町村の中で教育・保育職員1人当たりの幼保連携型認定こども園在園者数が最も多いのは海老名市で15.00人です。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]

認定こども園

認定こども園は、幼稚園、保育所等において、就学前のすべての子どもを対象にして教育・保育を提供するとともに地域において子育て支援を実施する施設のうちから知事が認定するものです。幼保連携型、幼稚園型、保育所型、地方裁量型の4類型があります。

幼保連携型	幼稚園的機能と保育所的機能の両方の機能をあわせ持つ単一の施設として、認定こども園としての機能を果たすタイプ
幼稚園型	認可幼稚園が、保育が必要なこどものための保育時間を確保するなど、保育所的な機能を備えて認定こども園としての機能を果たすタイプ
保育所型	認可保育所が、保育が必要なこども以外のこどもも受け入れるなど、幼稚園的な機能を備えることで認定こども園としての機能を果たすタイプ
地域裁量型	幼稚園・保育所いずれの認可もない地域の教育・保育施設が、認定こども園として必要な機能を果たすタイプ

市町村・地域名	幼稚園数		幼稚園在園者数		幼稚園在園者数 (教員1人当たり)		幼保連携型 認定こども園数		幼保連携型 認定こども園 在園者数		幼保連携型 認定こども園 在園者数 (教員・保育職員1人当たり)	
	2023年	4-01	2023年	4-02	2023年	4-03	2023年	4-04	2023年	4-05	2023年	4-06
	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位
神奈川県	608		82,798		10.64		168		24,555		6.42	
横浜市	236	1	32,155	1	10.16	16	52	1	9,810	1	7.16	11
川崎市	79	2	13,420	2	11.17	10	5	5	872	6	6.27	13
相模原市	42	3	6,053	3	10.16	17	50	2	5,647	2	5.30	17
横須賀市	31	5	3,480	5	9.78	19	26	3	2,849	3	5.83	16
平塚市	22	6	2,516	7	10.80	13	3	7	454	7	7.21	9
鎌倉市	19	7	2,021	10	10.75	14	3	7	363	10	3.95	20
藤沢市	32	4	5,096	4	13.38	4	-	-	-	-	-	-
小田原市	16	9	1,185	14	10.97	11	1	13	142	16	9.47	7
茅ヶ崎市	14	11	2,324	9	13.20	5	2	9	442	8	9.61	6
逗子市	5	17	378	20	9.00	22	-	-	-	-	-	-
三浦市	3	21	298	21	12.42	8	-	-	-	-	-	-
秦野市	9	12	620	16	9.54	21	8	4	1,023	5	6.13	15
厚木市	18	8	2,381	8	8.75	24	-	-	-	-	-	-
大和市	16	9	2,808	6	12.32	9	1	13	185	12	4.74	18
伊勢原市	5	17	772	15	9.65	20	5	5	1,202	4	7.56	8
海老名市	7	15	1,631	11	12.74	6	1	13	195	11	15.00	1
座間市	9	12	1,593	12	10.48	15	-	-	-	-	-	-
南足柄市	6	16	226	23	6.85	27	1	13	168	14	9.88	4
綾瀬市	9	12	1,358	13	12.57	7	1	13	112	17	6.22	14
葉山町	5	17	588	17	14.70	1	-	-	-	-	-	-
寒川町	2	25	422	19	13.61	3	2	9	435	9	10.61	3
大磯町	3	21	228	22	10.86	12	2	9	180	13	7.20	10
二宮町	5	17	500	18	8.77	23	-	-	-	-	-	-
中井町	-	-	-	-	-	-	1	13	102	20	6.80	12
大井町	3	21	151	26	10.07	18	-	-	-	-	-	-
山北町	2	25	92	27	7.67	26	-	-	-	-	-	-
開成町	1	28	22	31	5.50	29	1	13	107	19	9.73	5
箱根町	1	28	191	24	14.69	2	-	-	-	-	-	-
箱根町	1	28	6	32	2.00	32	2	9	111	18	4.63	19
真鶴町	1	28	23	29	5.75	28	-	-	-	-	-	-
湯河原町	2	25	46	28	3.83	30	-	-	-	-	-	-
愛川町	3	21	191	24	8.30	25	1	13	156	15	12.00	2
清川村	1	28	23	29	2.88	31	-	-	-	-	-	-

横浜地域	236	1	32,155	1	10.16	5	52	2	9,810	1	7.16	3
川崎地域	79	4	13,420	3	11.17	2	5	6	872	5	6.27	4
横須賀三浦地域	63	5	6,765	5	10.41	4	29	3	3,212	4	5.53	5
県央地域	105	2	16,038	2	10.59	3	54	1	6,295	2	5.48	6
湘南地域	92	3	12,478	4	11.95	1	22	4	3,736	3	7.46	2
県西地域	33	6	1,942	6	9.52	6	6	5	630	6	7.68	1

4-01~4-06 令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)

統計情報 学校基本調査

令和5年度学校基本調査 [文部科学省]
 公表日:令和5年12月20日 公表周期:毎年
 学校数、在学者数、教職員数、学校施設、学校経費、卒業後の進路状況等、学校に関する基本的事項を調査し、学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的とした調査です。

注釈

- 4-01~4-06
 1)2023年5月1日現在の値。
 4-02~4-03、4-05~4-06
 1)園の所在する市町村ごとに集計している。
 4-03
 1)幼稚園在園者数を、幼稚園の本務の教員及び教育補助員の合計数で除したもの。
 4-06
 1)幼保連携型認定こども園在園者数を、幼保連携型認定こども園の本務の教育・保育職員、保育士、教育・保育補助員の合計数で除したもの。

4 教育・子ども

4-07
保育所数 ▶▶▶ 1位 横浜市

指標 2022年4月1日現在の神奈川県の子どもの保育所数は1901施設で、前年度から36施設増加しました。

県内市町村で保育所数が最も多いのは横浜市で857施設、次いで川崎市が436施設です。

この統計は [県勢要覧2023(令和5年度版) 県次世代育成課調]

4-08 / 4-09
保育所入所児童数 ▶▶▶ 1位 横浜市
保育所入所児童数(保育士1人当たり) ▶▶▶ 1位 南足柄市

指標 2022年4月1日現在の神奈川県の子どもの保育所入所児童数は14万7766人で、前年度から1486人増加しました。3歳未満は6万1438人、3歳以上は8万6328人です。保育士1人当たりの保育所入所児童数は4.24人です。

県内市町村で保育所入所児童数が最も多いのは横浜市で6万4043人です。保育士1人あたりの入所児童数が最も多いのは南足柄市で5.89人、最も少ないのは箱根町で1.94人です。

この統計は [県勢要覧2023(令和5年度版) 県次世代育成課調]



統計情報 県勢要覧

県勢要覧2023(令和5年度版) [県統計センター]
公表日:令和6年3月 公表周期:毎年
神奈川県の子どもの土地、人口、経済、社会、文化などの各分野にわたる統計を収録したものです。

4-10 / 4-11
保留児童数 ▶▶▶ 1位 横浜市
待機児童数 ▶▶▶ 1位 鎌倉市

指標 2024年4月1日現在の神奈川県の子どもの保育所等の保留児童数は8869人、待機児童数は188人です。待機児童数は前年から34人減少しました。

県内市町村で保留児童数が最も多いのは横浜市で3327人です。中井町、山北町、箱根町、真鶴町、湯河原町、清川村の6市町村では保留児童が0人となっています。

県内市町村で待機児童数が最も多いのは鎌倉市で34人です。川崎市等の15市町村では待機児童が0人となっています。

この統計は [保育所等利用待機児童数の状況]

用語 保育所等、保留児童数、待機児童数

「保育所等利用待機児童数の状況」において、「保育所等」とは以下のものをいいます。

- ・保育所
- ・認定こども園(幼稚園機能部分を除く。)
- ・地域型保育事業(小規模保育、家庭的保育、事業所内保育及び居宅訪問型保育の各事業)

「保留児童数」とは、保育所等利用申込者数から利用児童数を差し引いたものです。

「待機児童数」とは、保留児童数から以下の7つの要件に該当する者を差し引いたものです。

- ① 預かり保育を実施している幼稚園において保育されている者
- ② 国庫補助を受けている認可外保育施設において保育されている者
- ③ 企業主導型保育事業(企業が自社の従業員の子どもや地域の子どもを受け入れるために設置する保育施設)において保育されている者
- ④ 地方単独補助を受けている認可外保育施設において保育されている者
- ⑤ 保護者が求職活動中のうち、求職活動を休止している者
- ⑥ 特定の保育所を希望し、保護者の私的な理由により待機している者
- ⑦ 保護者が育児休業中の者

統計情報 保育所等利用待機児童数の状況

保育所等利用待機児童数の状況(令和6年4月1日現在)
[県福祉子どもみらい局次世代育成課]

公表日:令和6年6月14日 公表周期:毎年

待機児童数を、厚生労働省の「保育所等利用待機児童数調査要領」の待機児童の定義に基づき集計しています。

市町村・地域名	保育所数		保育所入所児童数		保育所入所児童数 (保育士1人当たり)		保留児童数		待機児童数	
	2022年 4-07		2022年 4-08		2022年 4-09		2024年 4-10		2024年 4-11	
	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位
	施設		人		人		人		人	
神奈川県	1,901		147,766		4.24		8,869		188	
横浜市	857	1	64,043	1	4.46	11	3,327	1	5	13
川崎市	436	2	32,502	2	4.29	12	1,643	2	0	19
相模原市	103	3	8,128	3	3.72	23	645	3	7	10
横須賀市	31	10	2,340	11	3.96	21	272	7	6	11
平塚市	36	7	3,706	7	3.99	20	260	8	4	14
鎌倉市	29	11	2,366	10	3.54	27	216	10	34	1
藤沢市	86	4	7,890	4	4.19	15	500	4	11	6
小田原市	32	9	3,009	8	4.77	6	77	15	3	15
茅ヶ崎市	47	6	4,099	6	4.53	9	369	6	9	8
逗子市	7	17	749	17	4.68	7	36	20	6	11
三浦市	4	22	312	24	4.52	10	55	17	0	19
秦野市	24	14	1,594	14	4.02	19	42	19	0	19
厚木市	36	7	2,833	9	3.57	25	189	11	0	19
大和市	57	5	4,167	5	3.42	28	383	5	0	19
伊勢原市	12	15	1,105	15	4.15	16	158	12	16	4
海老名市	26	12	2,288	12	3.82	22	229	9	18	3
座間市	25	13	1,746	13	3.31	29	116	13	30	2
南足柄市	5	19	530	19	5.89	1	11	26	0	19
綾瀬市	10	16	1,015	16	4.21	13	111	14	9	8
葉山町	5	19	369	22	4.19	14	18	24	10	7
寒川町	4	22	688	18	5.73	2	61	16	3	15
大磯町	2	26	230	27	3.54	26	54	18	12	5
二宮町	5	19	381	21	4.14	17	11	26	0	19
中井町	1	29	57	30	2.71	32	0	28	0	19
大井町	2	26	263	26	5.48	3	23	23	2	18
松田町	1	29	125	28	5.00	5	12	25	3	15
山北町	1	29	56	31	2.95	30	0	28	0	19
開成町	3	25	394	20	4.64	8	25	22	0	19
箱根町	1	29	35	32	1.94	33	0	28	0	19
真鶴町	2	26	78	29	5.20	4	0	28	0	19
湯河原町	4	22	269	25	4.08	18	0	28	0	19
愛川町	6	18	368	23	3.72	24	26	21	0	19
清川村	1	29	31	33	2.82	31	0	28	0	19

横浜市地域	857	1	64,043	1	4.46	2	3,327	1	5	5
川崎市地域	436	2	32,502	2	4.29	3	1,643	3	0	6
横須賀三浦地域	76	5	6,136	5	3.89	5	597	5	56	2
県央地域	264	3	20,576	3	3.63	6	1,699	2	64	1
湘南地域	216	4	19,693	4	4.23	4	1,455	4	55	3
県西地域	52	6	4,816	6	4.73	1	148	6	8	4

4-07~4-09 県勢要覧2023(令和5年度版)、 4-10~4-11 保育所等利用待機児童数の状況

注釈

4-07~4-09

1)2022年4月1日現在の値。

4-09

1)入所児童数を、保育士数(有資格の常勤・非常勤職員の合計数)で除したものの。

4-10~4-11

1)2024年4月1日現在の値。

4 教育・子ども

小学校数 ▶▶ 1位 横浜市 4-12

指標 2023年5月1日現在の神奈川県の小学校数は881校で、前年度から1校減少しました。設置者別では、国立が2校、公立が847校、私立が32校です。

県内市町村で小学校数が最も多いのは横浜市で349校です。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]

小学校児童数 ▶▶ 1位 横浜市 4-13 / 4-14
 小学校児童数(教員1人当たり) ▶▶ 1位 藤沢市

指標 2023年5月1日現在の神奈川県の小学校児童数は43万9962人で、前年度から6675人減少しました。男女の内訳は、男子22万5174人、女子21万4788人です。教員1人当たりの小学校児童数は16.45人です。

県内市町村で小学校児童数が最も多いのは横浜市で17万6979人です。教員1人あたりの小学校児童数が最も多いのは藤沢市で19.62人、最も少ないのは箱根町で5.00人です。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]

特別支援教育

「特別支援教育」とは、障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものです。

平成19年4月から、「特別支援教育」が学校教育法に位置づけられ、すべての学校において、障害のある幼児児童生徒の支援をさらに充実していくこととなりました。

2023年5月1日現在の神奈川県の特設支援学校数は53校で、県内13市町村に所在しています。

また、2023年5月1日現在の神奈川県の特設支援学級を設置している小学校数は816校、中学校数は390校、義務教育学校数は5校です。

特別支援学校

	学校数※	在学者数
幼稚部	9校	78人
小学部	48校	2,221人
中学部	47校	1,470人
高等部	49校	4,588人
計	53校	8,357人

特別支援学級設置の小・中学校

	学校数	児童生徒数
小学校	816校	18,652人
中学校	390校	6,380人
義務教育学校	5校	116人

※特別支援学校は1つの学校の中に複数の設置部があるため、計は重複を除いています。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]

小学校外国人児童数 ▶▶ 1位 横浜市 4-15

指標 2023年5月1日現在の神奈川県の小学校外国人児童数は8244人で、前年度から836人増加しました。

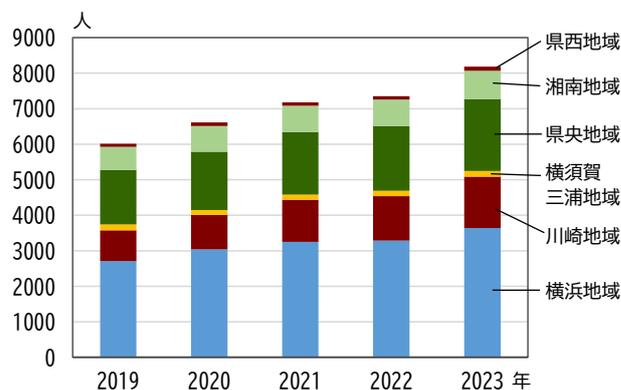
県内市町村で公立小学校外国人児童数が最も多いのは横浜市で3639人です。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]

用語 外国人

「外国人」とは、日本国籍を持っていない者をいいます。二重国籍者は日本人として計上しています。

小学校外国人児童数の推移



この統計は [令和元年～令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]

統計情報 神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)

令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)
 [県統計センター]
 公表日: 令和6年1月25日 公表周期: 毎年
 文部科学省が統計法に基づいて実施し公表する学校基本調査のうち、神奈川県分について集計し取りまとめたものです。

市町村・地域名	小学校数		小学校児童数		小学校児童数 (教員1人当たり)		小学校 外国人児童数	
	2023年 値	4-12 順位	2023年 値	4-13 順位	2023年 値	4-14 順位	2023年 値	4-15 順位
神奈川県	881		439,962		16.45		8,244	
横浜市	349	1	176,979	1	16.52	9	3,639	1
川崎市	118	2	75,261	2	17.81	3	1,447	2
相模原市	72	3	33,782	3	16.15	10	555	3
横須賀市	47	4	16,321	5	14.01	23	138	11
平塚市	29	6	11,820	8	15.29	18	221	8
鎌倉市	19	11	9,114	10	17.00	5	13	20
藤沢市	38	5	24,580	4	19.62	1	245	7
小田原市	26	7	8,350	11	14.10	22	55	15
茅ヶ崎市	20	9	12,905	6	18.89	2	41	16
逗子市	6	18	2,741	17	16.12	11	7	21
三浦市	8	17	1,332	23	10.25	31	-	
秦野市	13	12	7,326	12	15.55	15	117	14
厚木市	24	8	10,525	9	15.32	17	406	4
大和市	20	9	11,918	7	15.87	13	312	5
伊勢原市	10	15	4,618	15	14.30	21	131	13
海老名市	13	12	7,101	13	16.67	8	132	12
座間市	11	14	5,961	14	16.93	7	164	10
南足柄市	5	20	1,863	19	13.40	24	14	19
綾瀬市	10	15	4,406	16	14.64	20	267	6
葉山町	4	23	1,785	20	14.75	19	4	27
寒川町	5	20	2,581	18	17.09	4	37	17
大磯町	4	23	1,527	22	15.91	12	5	24
二宮町	3	25	1,145	25	15.47	16	5	24
中井町	2	28	326	30	10.52	30	21	18
大井町	3	25	774	26	10.75	29	6	23
松田町	2	28	408	28	11.03	28	-	
山北町	1	32	362	29	15.74	14	1	30
開成町	2	28	1,155	24	16.99	6	7	21
箱根町	5	20	300	31	5.00	33	3	28
真鶴町	1	32	198	32	11.65	26	-	
湯河原町	3	25	697	27	11.06	27	5	24
愛川町	6	18	1,688	21	12.41	25	183	9
清川村	2	28	113	33	5.65	32	2	29

横浜地域	349	1	176,979	1	16.52	3	3,639	1
川崎地域	118	4	75,261	3	17.81	1	1,447	3
横須賀三浦地域	84	5	31,293	5	14.75	5	162	5
県央地域	158	2	75,494	2	15.84	4	2,021	2
湘南地域	122	3	66,502	4	17.39	2	802	4
県西地域	50	6	14,433	6	13.10	6	112	6

4-12～4-15 令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)

統計情報 学校基本調査

令和5年度学校基本調査 [文部科学省]
公表日:令和5年12月20日 公表周期:毎年
学校数、在学者数、教職員数、学校施設、学校経費、卒業後の進路状況等、学校に関する基本的事項を調査し、学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的とした調査です。

注釈

4-12～4-15

1)2023年5月1日現在の値。

4-13～4-15

1)小学校の所在する市町村ごとに集計している。

4-14

1)小学校児童数を、小学校教員数(本務者)で除したもの。

4-15

1)市町村の数値は公立小学校に通う外国人生徒数である。神奈川県の数値には国立及び私立小学校に通う外国人児童数を含むため、市町村計と一致しない。

4-16
中学校数 ▶▶▶ 1位 横浜市

指標 2023年5月1日現在の神奈川県の中学校数は471校で、前年度から2校減少しました。設置者別では、国立が2校、公立が406校、私立が63校です。

県内市町村で中学校数が最も多いのは横浜市で176校です。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]

4-17 / 4-18
中学校生徒数 ▶▶▶ 1位 横浜市
中学校生徒数(教員1人当たり) ▶▶▶ 1位 藤沢市

指標 2023年5月1日現在の神奈川県の中学校生徒数は22万3823人で、前年度から1557人減少しました。男女の内訳は、男子11万4351人、女子10万9472人です。教員1人当たりの中学校生徒数は15.09人です。

県内市町村で中学校生徒数が最も多いのは横浜市で9万183人です。教員1人あたりの中学校生徒数が最も多いのは藤沢市で17.57人、最も少ないのは清川村で2.68人です。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]

義務教育学校

義務教育学校は、学校教育制度の多様化及び弾力化を推進するため、学校教育法の改正(平成28年4月1日施行)により、9年間一貫した系統的な教育課程を編成・実施する学校種として創設されました。

1つの学校として、一体的に小中一貫教育を行うもので、教育課程については、前期課程は小学校における教育と同一の目標を、後期課程においては中学校における教育と同一の目標を達成するように行われるものとされています。

2023年5月1日現在の神奈川県義務教育学校数は5校で、このうち3校が横浜市、2校が相模原市内の公立学校です。児童生徒数は2588人で、前期課程(1~6学年)は1815人、後期課程(7~9学年)は773人です。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]

統計情報 神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)

令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)
 [県統計センター]
 公表日: 令和6年1月25日 公表周期: 毎年
 文部科学省が統計法に基づいて実施し公表する学校基本調査のうち、神奈川県分について集計し取りまとめたものです。

4-19
中学校外国人生徒数 ▶▶▶ 1位 横浜市

指標 2023年5月1日現在の神奈川県の中学校外国人生徒数は2774人です。

県内市町村で中学校外国人生徒数が最も多いのは横浜市で1178人です。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]

用語 外国人

「外国人」とは、日本国籍を持っていない者をいいます。二重国籍者は日本人として計上しています。

中等教育学校

中等教育学校は、従来の制度に加えて、6年間の一貫した教育課程や学習環境の下で学ぶ機会をも選択できるようにすることにより、中等教育の一層の多様化を推進し、生徒一人一人の個性をより重視した教育の実現を目指すものとして、学校教育法の改正(平成11年4月1日施行)により創設された学校です。

1つの学校として、一体的に中高一貫教育を行うもので、教育課程については、前期課程では中学校の基準を、後期課程では高等学校の基準を準用するとともに、特色ある教育課程を編成できるよう、基準の特例を設けています。

2023年5月1日現在の神奈川県中等教育学校数は4校です。設置者別では公立が2校、私立が2校です。県内市町村別にみると、横浜市、相模原市、平塚市、伊勢原市にそれぞれ1校ずつあります

生徒数は前期課程が2270人、後期課程が1911人の計4181人で、前年度から157人増加しました。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]

統計情報 学校基本調査

令和5年度学校基本調査 [文部科学省]
 公表日: 令和5年12月20日 公表周期: 毎年
 学校数、在学者数、教職員数、学校施設、学校経費、卒業後の進路状況等、学校に関する基本的事項を調査し、学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的とした調査です。

市町村・地域名	中学校数		中学校生徒数		中学校生徒数 (教員1人当たり)		中学校 外国人生徒数	
	2023年 値	4-16 順位	2023年 値	4-17 順位	2023年 値	4-18 順位	2023年 値	4-19 順位
神奈川県	471		223,823		15.09		2,774	
横浜市	176	1	90,183	1	15.69	3	1,178	1
川崎市	58	2	33,769	2	15.60	4	305	2
相模原市	38	3	17,156	3	14.73	12	189	3
横須賀市	25	4	8,972	5	13.02	21	34	14
平塚市	17	6	6,134	8	13.45	19	97	8
鎌倉市	16	7	6,258	6	15.45	6	5	20
藤沢市	25	4	13,367	4	17.57	1	108	6
小田原市	13	9	4,361	11	13.14	20	29	15
茅ヶ崎市	14	8	6,203	7	15.35	7	14	16
逗子市	5	15	1,967	17	14.57	14	5	20
三浦市	3	19	780	23	10.54	27	-	-
秦野市	9	12	3,942	12	13.59	18	73	10
厚木市	13	9	5,600	10	13.79	16	158	4
大和市	10	11	6,021	9	15.17	8	128	5
伊勢原市	4	17	2,296	16	14.81	10	40	12
海老名市	6	13	3,365	13	15.95	2	39	13
座間市	6	13	3,101	14	15.51	5	62	11
南足柄市	3	19	998	19	11.88	23	4	23
綾瀬市	5	15	2,428	15	14.99	9	104	7
葉山町	2	23	823	21	14.19	15	-	-
寒川町	3	19	1,286	18	14.78	11	14	16
大磯町	4	17	823	21	10.97	26	1	25
二宮町	2	23	606	24	11.43	24	5	20
中井町	1	27	218	29	9.48	29	8	18
大井町	1	27	466	26	13.71	17	1	25
松田町	1	27	226	28	9.83	28	-	-
山北町	1	27	183	31	9.15	30	-	-
開成町	1	27	528	25	14.67	13	-	-
箱根町	2	23	213	30	7.10	32	-	-
真鶴町	1	27	90	32	7.50	31	2	24
湯河原町	1	27	428	27	12.23	22	6	19
愛川町	3	19	973	20	11.31	25	76	9
清川村	2	23	59	33	2.68	33	-	-

横浜市地域	176	1	90,183	1	15.69	1	1,178	1
川崎市地域	58	4	33,769	4	15.60	2	305	4
横須賀三浦地域	51	5	18,800	5	13.81	5	44	6
県央地域	83	2	38,703	2	14.61	4	756	2
湘南地域	78	3	34,657	3	15.19	3	352	3
県西地域	25	6	7,711	6	12.26	6	50	5

4-16～4-19 令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)

注釈

4-16～4-19

1)2023年5月1日現在の値。

4-17～4-19

1)中学校の所在する市町村ごとに集計している。

4-18

1)中学校生徒数を、中学校教員数(本務者)で除したもの。

4-19

1)市町村の数値は公立中学校に通う生徒数である。神奈川県の数値には私立中学校に通う外国人生徒数を含むため、市町村計と一致しない。なお、2023年5月1日現在の国立中学校に通う外国人生徒数は該当数値なしとなった。

4-20
高等学校数(全日制・定時制)
 ▶▶▶ 1位 横浜市

指標 2023年5月1日現在の神奈川県の全日制と定時制の高等学校数は228校です。設置者別では、県立が134校、市立が15校、私立が79校で、国立はありません。また、全体のうち、全日制が201校、定時制が3校、併置が24校となっています。

県内市町村で全日制と定時制の高等学校数が最も多いのは横浜市で91校です。5市町村には高等学校がありません。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]

4-21 / 4-22
高等学校生徒数(全日制・定時制)
 ▶▶▶ 1位 横浜市
高等学校生徒数(全日制・定時制)
(教員1人当たり) ▶▶▶ 1位 松田町

指標 2023年5月1日現在の神奈川県の全日制と定時制の高等学校生徒数は19万1661人で、前年度から1405人減少しました。男女の内訳は、男子9万7261人、女子9万4400人です。教員1人当たりの高等学校生徒数は14.93人です。

県内市町村で高等学校生徒数が最も多いのは横浜市で7万9821人です。教員1人あたりの高等学校生徒数が最も多いのは松田町で23.33人、最も少ないのは大井町で4.94人です。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]

統計情報 神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)

令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)
 [県統計センター]
 公表日:令和6年1月25日 公表周期:毎年
 文部科学省が統計法に基づいて実施し公表する学校基本調査のうち、神奈川県分について集計し取りまとめたものです。

4-23
大学等進学率 ▶▶▶ 1位 箱根町

指標 神奈川県の2023年3月高等学校卒業者の大学等進学率は68.08%です。

県内市町村で大学等進学率が最も高いのは箱根町で93.94%です。

県内地域別みると、大学等進学率が最も高いのは横浜地域で71.07%です。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]

用語 大学等進学率

全日制・定時制高等学校卒業生数のうち、大学(学部・別科)、短期大学(本科・別科)、大学・短期大学の通信教育部、放送大学、高等学校(専攻科)及び特別支援学校高等部(専攻科)へ進学した者の割合をいいます。

高等学校(通信制)

高等学校の通信制課程は、勤労青年に高等学校教育の機会を提供するものとして戦後に制度化されました。通信手段を主体とし、添削指導・面接指導・試験の方法により教育を実施しています。また、これらに加えてインターネットやテレビ放送等の多様なメディアを利用した指導を行うことができます。

近年では、学習時間や時期、方法等を自ら選択して自分のペースで学ぶことができる通信教育ならではの長を生かして、勤労青年のみならず、スタートラインも目指すゴールも異なる多様な生徒に対して教育機会を提供しています。

2023年5月1日現在の神奈川県の通信制の高等学校数は7校です。設置者別では公立が2校、私立が5校です。市町村別にみると、横浜市に4校、厚木市に2校、山北町に1校あります。

生徒数は5428人で、男女別の内訳は男性3115人、女性2313人です。15歳から60歳以上まで、幅広い年代が在籍しています。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]

統計情報 学校基本調査

令和5年度学校基本調査 [文部科学省]
 公表日:令和5年12月20日 公表周期:毎年
 学校数、在学者数、教職員数、学校施設、学校経費、卒業後の進路状況等、学校に関する基本的事項を調査し、学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的とした調査です。

市町村・地域名	高等学校数 (全日制・定時制)		高等学校生徒数 (全日制・定時制)		高等学校生徒数 (全日制・定時制) (教員1人当たり)		大学等進学率	
	2023年		2023年		2023年		2023年	
	4-20	4-21	4-20	4-21	4-22	4-22	4-23	4-23
	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位
神奈川県	校 228		人 191,661		人 14.93		% 68.08	
横浜市	91	1	79,821	1	15.36	8	71.07	7
川崎市	25	2	21,692	2	14.15	15	69.30	10
相模原市	17	3	15,078	3	15.21	9	69.18	11
横須賀市	12	5	10,412	5	14.05	16	62.90	13
平塚市	6	8	4,918	8	14.26	14	50.40	20
鎌倉市	10	6	7,068	6	16.59	2	79.21	4
藤沢市	15	4	12,318	4	16.12	6	74.62	5
小田原市	7	7	5,407	7	13.42	19	61.49	15
茅ヶ崎市	5	11	4,759	9	16.47	3	68.83	12
逗子市	3	12	1,817	17	14.54	13	61.54	14
三浦市	1	18	551	24	10.40	26	17.79	24
秦野市	3	12	2,491	15	14.65	12	70.01	9
厚木市	6	8	4,554	11	13.09	20	57.87	18
大和市	6	8	4,588	10	14.80	11	61.28	16
伊勢原市	3	12	3,217	12	16.09	7	74.10	6
海老名市	3	12	2,668	13	16.17	5	71.00	8
座間市	3	12	2,523	14	14.02	17	60.00	17
南足柄市	1	18	707	20	12.19	21	57.83	19
綾瀬市	2	17	1,852	16	14.82	10	35.41	23
葉山町	-		-		-		-	
寒川町	1	18	649	22	11.80	23	14.80	26
大磯町	1	18	821	19	16.42	4	83.88	2
二宮町	1	18	702	21	11.90	22	48.71	21
中井町	-		-		-		-	
大井町	1	18	237	27	4.94	28	8.41	28
松田町	1	18	1,213	18	23.33	1	83.70	3
山北町	1	18	538	25	13.45	18	40.74	22
開成町	1	18	356	26	7.91	27	13.71	27
箱根町	1	18	90	28	11.25	25	93.94	1
真鶴町	-		-		-		-	
湯河原町	-		-		-		-	
愛川町	1	18	614	23	11.37	24	16.56	25
清川村	-		-		-		-	

横浜地域	91	1	79,821	1	15.36	2	71.07	1
川崎地域	25	5	21,692	4	14.15	5	69.30	2
横須賀三浦地域	26	4	19,848	5	14.76	3	67.19	4
県央地域	38	2	31,877	2	14.67	4	63.22	5
湘南地域	35	3	29,875	3	15.46	1	67.47	3
県西地域	13	6	8,548	6	13.07	6	60.05	6

4-20～4-23 令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)

注釈

4-20～4-22

1)2023年5月1日現在の値。

4-21～4-22

1)高等学校の所在する市町村ごとに集計している。

4-22

1)全日制・定時制高等学校生徒数を、全日制・定時制高等学校教員数(本務者)で除したものの。

4-23

1)卒業した全日制・定時制高等学校の所在する市町村ごとに集計している。

専修学校数 ▶▶▶ 1位 横浜市 4-24

指標 2023年5月1日現在の神奈川県内の専修学校数は106校です。設置者別では、公立が5校、私立が101校です。

県内市町村で専修学校があるのは15市町村です。
県内で専修学校数が最も多いのは横浜市で60校です。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]

用語 専修学校

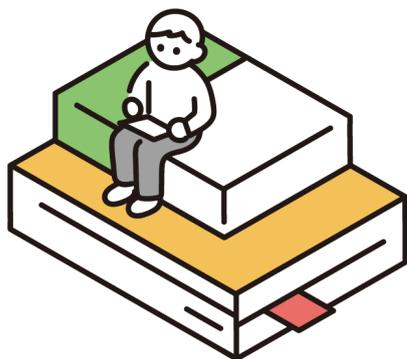
専修学校とは、学校教育法の中で「職業若しくは實際生活に必要な能力を育成し、又は教養の向上を図る」ことを目的とする学校であるとされ、実践的な職業教育、専門的な技術教育を行う教育機関として、多岐にわたる分野でスペシャリストを育成しています。

専修学校生徒数 ▶▶▶ 1位 横浜市 4-25

指標 2023年5月1日現在の神奈川県内の専修学校生徒数は2万5810人です。男女の内訳は、男性1万975人、女性1万4835人です。

県内市町村で専修学校生徒数が最も多いのは横浜市で1万9353人です。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]



統計情報 神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)

令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)
[県統計センター]
公表日:令和6年1月25日 公表周期:毎年
文部科学省が統計法に基づいて実施し公表する学校基本調査のうち、神奈川県分について集計し取りまとめたものです。

大学等留学生数(居住地別) ▶▶▶ 1位 横浜市 4-26

指標 2023年5月1日現在の神奈川県内の大学等に在籍する留学生数は1万1956人です。そのうち1万13人が県内に居住しています。

県内市町村で県内大学等に在籍する留学生が最も多く居住しているのは横浜市で5246人です。

この統計は [令和5年度神奈川県内大学等に在籍留学生調査結果]

用語 留学生

この調査でいう「留学生」とは、神奈川県内の大学、大学院、短期大学、大学校、専修学校(専門課程)、日本語教育機関等(以下「大学等」という。)において教育を受ける外国人留学生で、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定める「留学」の在留資格により在留する者をいいます。

各種学校

各種学校とは、明治12年の教育令中「学校は小学校・中学校・大学校・師範学校・専門学校、その他各種の学校とする」に始まるといわれており、和洋裁、簿記、珠算、自動車整備、調理・栄養、看護師、保健師、理容、美容、タイプ、英会話、工業などをはじめとする各種の教育施設を含んでいます。

2023年5月1日現在の神奈川県内の各種学校数は12校です。横浜市に10校、川崎市に2校あり、全て私立です。

生徒数は3568人で、男女別の内訳は男性1801人、女性1767人です。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]

統計情報 学校基本調査

令和5年度学校基本調査 [文部科学省]
公表日:令和5年12月20日 公表周期:毎年
学校数、在学者数、教職員数、学校施設、学校経費、卒業後の進路状況等、学校に関する基本的事項を調査し、学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的とした調査です。

市町村・地域名	専修学校数		専修学校生徒数		大学等留学生数 (居住地別)	
	2023年 値	4-24 順位	2023年 値	4-25 順位	2023年 値	4-26 順位
神奈川県	106		25,810		10,013	
横浜市	60	1	19,353	1	5,246	1
川崎市	7	2	924	2	1,688	2
相模原市	6	3	749	5	619	4
横須賀市	4	5	393	10	287	7
平塚市	6	3	916	3	283	8
鎌倉市	1	12	83	13	10	16
藤沢市	4	5	348	11	333	5
小田原市	4	5	413	8	72	12
茅ヶ崎市	2	10	588	7	64	13
逗子市	-		-		10	16
三浦市	1	12	78	14	2	20
秦野市	1	12	60	15	660	3
厚木市	4	5	634	6	303	6
大和市	2	10	397	9	143	9
伊勢原市	1	12	89	12	111	10
海老名市	-		-		98	11
座間市	-		-		55	14
南足柄市	-		-		-	
綾瀬市	3	9	785	4	15	15
葉山町	-		-		-	
寒川町	-		-		5	18
大磯町	-		-		-	
二宮町	-		-		1	22
中井町	-		-		-	
大井町	-		-		-	
山北町	-		-		2	20
開成町	-		-		-	
箱根町	-		-		1	22
真鶴町	-		-		-	
湯河原町	-		-		-	
愛川町	-		-		5	18
清川村	-		-		-	

横浜市地域	60	1	19,353	1	5,246	1
川崎市地域	7	4	924	4	1,688	2
横須賀三浦地域	6	5	554	5	309	5
県央地域	15	2	2,565	2	1,238	4
湘南地域	14	3	2,001	3	1,457	3
県西地域	4	6	413	6	75	6

4-24～4-25 令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)、
4-26 令和5年度神奈川県内大学等在籍留学生調査結果

統計情報 神奈川県内大学等在籍留学生調査結果

令和5年度神奈川県内大学等在籍留学生調査結果
〔県文化スポーツ観光局国際課〕
公表日：令和5年10月26日 公表周期：毎年
県の留学生支援施策の推進のための基礎資料を得ることを目的として毎年5月1日現在における、神奈川県内の大学等に在籍する外国人留学生の状況を調査しています。

注釈

4-24～4-26

1)2023年5月1日現在の値。

4-25

1)専修学校の所在する市町村ごとに集計している。

4-26

1)県内の大学等に在籍する留学生のうち、県内に居住している者の内訳である。

2)留学生の居住する市町村ごとに集計している。



Q.1

県内市町村で教員1人当たりの幼稚園在園者数が最も多いのはどこ？
(2023年5月1日現在)

A.

- ① 逗子市
- ② 海老名市
- ③ 葉山町

Q.2

県内市町村で幼保連携型認定こども園数が最も多いのは横浜市ですが、2番目はどこ？
(2023年5月1日現在)

A.

- ① 川崎市
- ② 相模原市
- ③ 横須賀市

Q.3

県内市町村で保育士1人当たりの保育所入所児童数が最も多いのはどこ？
(2022年4月1日現在)

A.

- ① 厚木市
- ② 南足柄市
- ③ 大井町

Q.4

県内市町村で教員1人当たりの小学校児童数が最も多いのはどこ？
(2023年5月1日現在)

A.

- ① 横浜市
- ② 平塚市
- ③ 藤沢市

Q.5

県内地域で中学校数が最も多いのは横浜地域ですが、2番目はどこ？
(2023年5月1日現在)

A.

- ① 川崎地域
- ② 湘南地域
- ③ 県央地域

Q.6

県内地域で大学等進学率が最も高いのはどこ？
(2023年3月)

A.

- ① 横浜地域
- ② 横須賀三浦地域
- ③ 湘南地域

Q.7

専修学校がある県内市町村はいくつ？
(2023年5月1日現在)

- ① 11市町村
- ② 13市町村
- ③ 15市町村

答えは81ページ ▶